



真岡市の魅力を再発見、そしてさらなる発展へ 新春対談 石坂市長 × 地域おこし協力隊



市長 新年明けましておめでとうございます。今回は、令和4年4月に「地域おこし協力隊」として着任した3人にお越しいただきました。よろしくお願いいたします。

市内で道に迷ってしまいピンチに

渡部 祖母が那須塩原市に住んでいて、私自身、いちごが大好きなので、真岡市のことは以前から知っていました。また、協力隊に入る前、金鈴荘に行こうとして道に迷ってしまったことがあります。そのときに、当時の観光コンシェルジュの方が道を案内してくださり、真岡市のこともいろいろと教えてもらえました。協力隊としてまちづくりプロジェクト(以下まちつく)の活動に参加してからも、大人メンバーや高校生など皆さんとても親切にしてくれて、「真岡には心温かい人が多い」と今でも信じています。

移住してみた真岡市の印象は？

市長 皆さん真岡市へ移住して、活動を通じて実感した真岡市の印象はどうか？

子育てを考えて移住を決意

栗村 真岡市の採用ページを見たときに初めて「もおかと読むんだ」というところから知りました(笑)。初めて真岡市を訪れた日は、ちょうど二宮でイベントが行われていて、子ども連れなど来場者の多さに驚きました。そのときの「活発なまちだなあ」という印象は今も変わりません。また、私は子育てを見据えて移住しましたが、市内にきちんと管理されている公園が多くあり、そうした点も住みやすさにつながっていると思います。

数十年ぶりに戻った故郷の印象

檜澤 私は18歳で上京し、数十年ぶりに故郷に戻って来たのですが、まちの印象が以前よりも明るくなったと感じています。やはり、それは区画整理や道路の整備のおかげではないかと思っています。また、自然が多く、ストレスが少ない環境で生活がしやすいと改めて感じています。自身で企画した移住オンラインセミナーにおいても、「青空と笑顔の暮らしのご提案」と題して、自信をもって真岡市をPRすることができました。



まちづくりコーディネーターとして神奈川県から移住

元雑誌編集長 粟村千愛さん
あむらちさと
新聞記者としての経験を生かし、まちづくりに携わる人の想いを伝える「まちつくインタビュー」の取材・編集を担当。その他、「まちつく文庫」の活動として児童書募集、青空ステーションの本棚製作など。現在、育児休業中。



市HP
インタビュー記事
はこちら

まちづくりコーディネーターとして千葉県から移住

ドッグトレーナー 渡部真子さん
わたなべまこ
ドッグトレーナーの経験を生かし、五行川沿いにオープンした「リバプラドッグパーク」の企画・運営を担当。その他、広報もおか特集「正しい犬の飼い方強調月間」の監修、「まちあるき×クリーン作戦」の発案・実施など。



市HP
インタビュー記事
はこちら



市HP
広報もおかは
こちら

移住コーディネーターとして東京都から移住

元ホテルのセールス担当 檜澤しのぶさん
ひざわ
移住定住に関する窓口を担当し、相談者の対応のほか、本市への移住を検討している方向けのFacebookコミュニティグループを開設。そのほか、子育てをテーマにした移住オンラインセミナーの実施、移住関連イベントへのブース出展など。



市HP
移住促進PR
動画はこちら



「広報もおか」紙面をリニューアルしました

- ①横書き統一で見やすさアップ
横書き統一により英数字や表などの読みやすさを向上
- ②フルカラーで鮮やかさアップ
視覚効果の向上により写真や図表を効果的に表現
- ③とじ穴の廃止で経費縮減
印刷製本費用の軽減と写真レイアウトの自由度を向上
- ④特集・新企画で魅力アップ
特集ページの増加や新企画により内容も充実

